



ほ、元み

《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
1. 私達は自分の力で伸びて行こう
1. 私達は私達の規則を尊重しよう



《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします



院長就任のご挨拶

院長 中村 寿



平成28年10月より十全総合病院の院長を拝命いたしました脳神経外科の中村寿です。院長就任に当たりご挨拶を申し上げます。

今年には当院の前身である松尾医院が開院して60年、十全総合病院になって47年目になります。十全総合病院は約半世紀にわたってこの地域の救急医療に尽力してきました。私が専門にしている脳神経外科は頭部外傷や脳卒中など救急医療の対象になる傷病が多く、私が赴任する以前から当院は新居浜のみならず西条から宇摩圏域にかけての脳神経外科救急の中核的役割を果たしていました。私が十全総合病院に初めて赴任したのは平成2

年9月でした。以来25年間にわたり私自身もこの地域の脳神経外科医療に携わってきました。

ところが、平成16年から始まった新臨床研修制度のあおりを受け、地方から若い医師がどんどん減っていくという異常事態が起こります。さらに脳神経外科では病院勤務で救急医療などに従事できる実働人員が徐々に少なくなるという深刻な問題が発生してきました。当院脳神経外科も元々3人体制だったのですが、平成15年に一人減となり、とうとう1年前にはそれまで異動の話がなかった私も医局人事で異動になり、昨年9月から脳神経外科常勤医がいなくなるという状況になりました。

が打ち出されています。ちょうど私が復帰するタイミングで当院でも、具合が悪くなって来られた方にはしつかり的確な急性期医療を提供し、早く元気になって元の生活に戻っていただけようようにするために、病棟の再編、スタッフ配置の重み付けなどを行っております。さらには在宅で医療のお手伝いが必要な方には病院から訪問看護、訪問リハビリができるようなステーションを立ち上げました。今まで以上に地域に根ざした病院として地域の方々に安心できる医療を提供できる病院にしていきたいと考えています。

高齡化が進む我が国において年々増加する医療費を削減するために国は躍起になっており、病院への締め付けはどんどん強くなってきました。その流れで、長く病院に入院しているのではなく、病气や不自由があってもそれぞれの方が住み慣れたところで生活を続けていけるようにする(もちろんそれが理想だと思います)、「ときどき入院ほぼ在宅」という方向性が打ち出されています。



気軽に体を動かすためには

内科医長 野呂 賢一



◎診察日【内科】

●火・木・金曜日
午前 8 時45分 ~ 12 時
●水曜日
午後 3 時 ~ 5 時

1位 仕事や家事、育児が忙しくて時間がなから

2位 年をとったから

3位 機会がなかったから

運動の話をする時には、効果を意識するために、種類や時間を強調しがちです。つまり、運動は強く、長くといった方が良いとされる場合が多いようです。これが、ハードルが高くなってしまう理由の一つでしょう。しかし、血糖と運動の関係を見た最初

の研究によると、あまり運動の時間にとこだわる必要はなく、短時間の運動でも積み重なれば、効果はあると考えられています。また運動の強さについても、強くなれば心肺や筋肉などへの負担も大きくなります。より安全な運動を考えれば、比較的軽めの運動を長めに、回数を多く行うのがいいのではないのでしょうか。

そう言われても、言うは易しでもできそうにないと思つた方は、ちよつと待つて下さい。運動という言葉に抵抗感を持つて、あきらめてしまつていませんか。運動を活動という言葉にしてみたらどうでしょうか。立

皆さんこんにちは。朝晩涼しくなつてきました。秋が過ぎ、9月になり、秋の気配も感じられるようになってきました。秋と言えば「○○の秋」といろんな秋がありますね。人それぞれとは思いますが、今回は運動の秋について考えてみたいと思います。

運動と聞くとどんな事を思い浮かべますか？運動というと、強さ、時間、回数などが大事になってきます。大変だな、面倒だなと思ひ、ハードルが高い人も多いのではないのでしょうか？東京都が2011年に行つた「スポーツ、運動と保健医療に関する世論調査」によると、「運動はしなかつた」と答えた人の理由は、次のようになっています。

つ・歩くなど、日常生活全般の動作が含まれます。そして、日常生活のちよつとした工夫で、この活動量は増やす事ができます。活動量が増える事は、血糖のみならず健康全般に効果があります。

ではどのような工夫があるでしょうか。有名なものとして、「エレベーターやエスカレーターを使わず、階段を使う」や「降りる駅の1つ手前で降りて歩く」などがあります。

他にも

- ・テレビのリモコンは使わずに、本体まで歩いて操作する
- ・重い物はカートを使わず、カゴを持つ
- ・車で買い物に行つた時、なるべく駐車場の遠い所に停める
- ・ネット販売などを使わず、自分で買い物をする
- ・座つても背もたれを使わない
- ・居酒屋をやめて、立ち飲み屋で飲酒する

・公衆トイレでは和式を選ぶ

- ・靴や靴下の脱ぎ着は立つてする

こつとした工夫を取り入れて、習慣にする事ができれば、1ヶ月や1年で

見ると違つてくるでしょう。またこつした工夫には、負担感がなく長続きしやすいというメリットがあります。運動する時間、機会がないという方でも、活動量を増やす事は十分可能だと思ひます。日常生活にこつとした工夫を取り入れてもらひ、健康につながる方が、1人でもいれば大きな喜びです。





参加医療者全員で

愛大生ら当院にて実践型医療実習！

H28.7.16 開催

闘魂外来&闘魂祭り2016 in 十全総合病院

闘魂外来実行委員長 古林 太加志

NHK総合テレビ水曜日22:25から「総合診療医ドクター G」という番組が放送されています。

当院ではこの番組に多数出演している徳田安春先生をはじめとする指導医5名を招聘し、愛媛県では初となる「標記実習」を企画し開催しました。将来、総合診療医を目指す若者に、楽しく高いレベルの医療を学ぶ機会を作ることによって地域に若い医師が注目し、集まって来るようになってほしいという思いからです。

参加した医学生は「本当の患者さんを相手に診察させていただき大学の座学では体感できない貴重な経験ができました。」とすごく充実した様子でした。改めて患者さま方のご協力に感謝申し上げます。



闘魂外来



闘魂祭(カンファレンス)

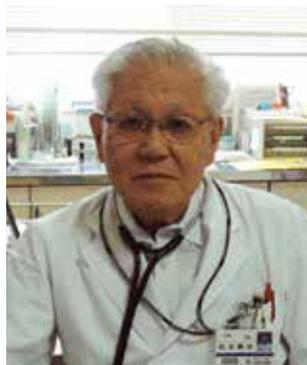
今回参加した医学生の中から一人でも、総合診療医となり私たちの仲間になって欲しいと願うと共に、今後この活動をとらして地域医療の未来のために貢献していきたいと思ひます。

参加大学：愛媛大学医学部・高知大学医学部・香川大学医学部・島根大学医学部



診断・治療と注意事項

血管外科 松本 興治



【血管外科】
 ●火・金曜日／
 午前 8時45分～12時
 午後 13時30分～17時
 ●木曜日／
 午前 8時45分～12時
 非常勤の為、時間等
 お問い合わせください

現在、日本には約1000万人の糖尿病の方がいて、その90～95%は2型糖尿病という通常の糖尿病で40歳以上の発症がほとんどです。本来、アジア人は欧米人に比べて体内のインスリン産生が少な

く、欧米人の半分程度といわれています。そのうえに生活の欧米化、とくに食生活の高カロリー化と運動不足、そして社会の高齢化が相まって、現在の糖尿病患者の急激な増加がもたらされたと考えられています。

糖尿病では全身の血管内皮(血液と接する内側部分)が高血糖による糖化反応で障害され、体の太い血管から微小血管まであらゆる血管が傷められ、神経を含め、全身のあらゆる組織に血流障害による変調をきたします。また高血糖そのものが全身の神経に異常をきたします。今回のテーマである糖尿病性壊疽は体におこる各種の異常・変調が重複し、その結果として生じてくる点が重要です。

糖尿病による異常・変調が

末梢神経に現れると知覚が麻痺し、外傷や低温熱傷などを足に受けやすく、痛みを感じないため発見が遅れ放置される傾向にあります。また運動神経がやられると足の筋肉機能が変調して、足・足趾(足の指)に力のかかり方のちがいにより変形や胼胝形成(反復外力で皮膚が硬く肥厚する、図1)をきたします。また自律神経が障害されると足底、足趾などの血管において細動脈から細静脈へのシャント(短絡で血流が直接つながる)が開きます。すると最も肝心な毛細血管の部分で血液が循環せず、その前で近道して素通りしていつてしまったため、組織は酸素不足、栄養不足となり、その部分に壊死や潰瘍が発生します。(図2-1、2-2拡大、3)

1、2-2拡大、3)

また自律神経の変調で発汗が減り皮膚に亀裂などを生じそれが潰瘍化する例や先に述べた胼胝から潰瘍を発生してくる例もかなり多く見られます。(図4)

こうした足は血液の空回りがあるため生温かいのですが、真の組織循環は低下しているため炎症を引き起こし、発赤・腫脹・熱感をきたします。一方、糖尿病では太い動脈から細動脈まで動脈硬化をきたしやすく、動脈閉塞を合併する頻度が高く、動脈壁の石灰化もきたします。そのため血液がさらに足に達しにくくなります。

そのうえに糖尿病性腎症で透析が必要になるとか全身の栄養不良から低タンパク血症になると糖尿病性壊疽の発生率がさらに高まり、かつ形成された潰瘍は治癒しにくくなります。

もう一つ重要なことは糖尿病では細菌に対する抵抗力が極度に低下して容易に感染し、小さい傷からでも感染を引き起こすことです。また潰瘍などの感染源が急速に周辺に波及し、足部か



図2-1



図2-2拡大





図5



図4



図3

ら下腿まで蜂窩織炎に陥ることも稀でなく、強い悪臭を発します。同時に骨髄炎を併発し、さらにガス壊疽を発生する場合さえあります。(図5)

治療の第一はまず糖尿病そのものの徹底した治療です。ほとんどの糖尿病性壊疽の患者さんは糖尿病の治療が十分のままで、血糖もHbA1cも高値の方が大部分です。またほとんどの方でインスリン治療が必要で、多くの場合糖尿病の専門医の治療ないし援助を要します。

次に動脈の状態を検査することが必須で、ドップラー血流計で足部の血流の状態を知り、足関節・上腕動脈血圧比、趾先脈波などで血行の程度を知り、さらに動脈造影を行います。そして動脈狭窄(細くなつた部分)や閉塞があれば血管内治療や血行再建手術で血行を改善します。同時に後述の血流改善薬も併用します。狭窄などがなければ末梢の細動脈・毛細血管領域の血流を改善する目的で、血管拡張剤(血流改善

剤)や抗血小板剤などの薬物を内服や点滴注射などでやや長期に投与します。

次に潰瘍や周囲組織に感染がないかどうか細菌検査を実施し、菌種と有効な抗生物質の種類を決定し、それらを十分な期間、十分な量投与し殺菌し、感染を治癒させます。

同時に足の潰瘍・壊死部、感染巣に対する局所処置が重要です。感染があれば切開し不良部の切除を行い、患部を開放創とし膿や浸出液が体の外へ出やすくし、壊死部分を徐々に切除していきます。壊死に陥つた部分を少しずつ切除していくので、疼痛はなく、麻酔も不要で、残る足の部分も最も長くなります。毎日、創・潰瘍部を洗浄し殺菌作用のある適切な外用剤を塗布し、肉芽形成を促進させるために線維芽細胞を増殖させるEGFの創製剤(フィブラスト®スプレー)を噴霧します。ある程度、改善した段階で持続陰圧閉鎖療法を併用し、肉芽形成をさらに促進・増殖させ、ついで潰瘍表面の皮膚

化を待つて潰瘍を治癒に導きます。

この間、極力歩行を制限し足をできるだけ安静に保ち、感染や壊死が周囲へ拡大しないようにします。さらに足部の偏った圧負荷を検討し足底板や除圧サンダルなどを作成し、潰瘍治癒後も使用させ再発を予防します。(図6、7、8)

しかしながら図5の例のように、時には病勢が激しく進行が急激で、感染の制御もできず壊死が進行、拡大して、全身的な菌血症、敗血症を合併してくると生命の危険も迫ってきます。その際には躊躇せず早期に下腿や大腿での切断を要することがほとんどです。したがって油断なく経過を注意深く診ていくことが肝心です。

要するに、糖尿病が長く続き、血糖、HbA1cの数値が高く、足部にしびれ等がある方は本症を発症する危険性が高いので、足部に普段とちがう異常がないかどうかを、常に自分や家族によつて綿密に観察していることが大切です。



図8



図7



図6

認知症の人の生活を 考えた環境作り

— 2病棟主任 伊藤 千枝

認知症は、注意力、実行機能、学習・記憶、会話、日常生活動作、他人の気持ちや考えの理解といった認知機能のうち、一つ以上が低下し日常生活における自立性が低下した状態とされます。

認知症の患者さんの生活を考えた環境を整えるには、「認知症高齢者への環境支援のための指針」というものがあります。

1. 見当識障害への支援

部屋は家庭的な雰囲気になります。時計やカレンダーを飾り、現実認識を高めます。

2. 機能的な能力への支援

排泄、入浴、整容、衣服の着脱動作についてできるだけ自分でできるように、持っている力が生かせるようにします。

3. 環境における刺激の質と調整

自然界の音やキッチンなどの音などが適度な刺激になります。視覚や香り、寝具の素材工夫などで、心地良さを、馴染みのある環境作りをします。

4. 安全と安心への支援

危険がないよう見守りつつ、見張ら

れ感を抱かせない環境作りや、転倒予防できるように環境を整えます。

5. 生活の継続性への支援

慣れ親しんだもの、家具や写真などで居心地の良い環境にします。

6. 自己選択の支援

空間や居場所などの環境と共に個々の選択をきちんと聞いてケアをします。

7. プライバシーの保護

部屋に入るときは、ノックや声掛けをきちんとします。一人になれる場所を確保します。ケアする時も、プライバシーを守ります。

8. 他者との触れ合いの促進

他者との交流が図れるような環境作りを支援します。

認知症の人に対し否定的にならずに、理解しようと関わるのが大切です。ケア提供者の視点ではなく、対象者の視点、生活を考えた環境作りを紹介しました。



ご存知ですか なかよし園

経理課長 住 竜太郎



みなさん、なかよし園を知っていますか？
なかよし園とは、「新居浜市に居住している乳児・幼児又は小学校に就学している児童が病気で保護者が家庭で保育できないときに、専用施設で一時的に保育を行う施設」です。
現在、株式会社プラス愛が新居浜市の委託を受けて「病児・病後児保育事業」を実施しています。



- 場 所** 新居浜市北新町1-3 十全総合病院のとなり(アンパンマンのみえるところ)
- 定 員** 4名
- 開所時間** 8:00 ~ 18:00
- 休 日** 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・地方祭など
- 問い合わせ先** TEL(0897)33-1818(内線7150)
090-5276-3339(平日8:00 ~ 18:00)



利用したい方は、見学もできますのでどうぞおいでください。



第21回 十全公開糖尿病教室

参加費
お申し込み
不要

♪合併症を体験しよう♪～実は体の中こんなになっています～

日時 11月9日(水) 9:30～11:00
(展示は12時まで行っております)

場所 十全総合病院 正面玄関ロビー、
外来棟3Fカンファレンスルーム

正面玄関
ロビー

- ・血糖、血圧測定
- ・食べ物の塩分表示
- ・体操 10:00～
10:20～
10:40～

3F
カンファレンス
ルーム

- ・神経障害体験
- ・網膜症体験
- ・目で見える腎機能
- ・体内の糖の流れをみてみよう
- ・インスリンってどんなもの？



※詳細につきましては、栄養相談室・中央採血室までお問い合わせください。

※糖尿病の方、糖尿病を予防されたい方、そのご家族やご近所の方、どなたでもお気軽にご参加ください。
先着順で記念品をご用意しております。

平成28年度 新居浜市民公開糖尿病教室

参加費
無料

スローガン 糖尿病と共にいきいき長生き

日時 11月26日(土) 12:30～15:30

場所 リーガロイヤルホテル新居浜 石鎚の間・菊の間
(新居浜市前田町6番9号)

定員 200名

第52回 全国糖尿病週間
11月14日(月)～20日(日)

健康寿命をのばそう

講演1

寝たきりを予防するために大切なこと

時間 13:00～14:00

講師 愛媛労災病院整形外科副部長 村上 智俊

講演2

リハビリ体操

時間 14:10～14:40

公演

高津小学校合唱部による癒しの音楽

時間 14:50～15:30

演者 高津小学校児童

きいてみよう
はかってみよう

血糖検査など

時間 12:30～13:00

血糖測定、
医療相談、
糖尿病用食品
などを展示



- 主催：新居浜糖尿病地域医療研究会 ●共催：愛媛県糖尿病対策推進会議
- 後援：新居浜市、新居浜市教育委員会、新居浜市医師会、新居浜病院栄養士協議会、愛媛県病院薬剤師会東予支部、愛媛新聞社、(株)ハートネットワーク、愛媛県糖尿病協会、愛媛県看護協会、愛媛県臨床検査技師会、その他

参加費無料
申込不要

糖尿病教室のお知らせ

日時 場所
毎週水曜日午後2:00～
外来棟3階カンファレンスルーム

開催日	内 容	担 当
10/5 (水)	糖尿病ってどんな病気? 糖尿病と上手につき合おう	内科医師 看護師
10/12 (水)	インフルエンザ対策できていますか? 食事はどうしたらいいの?	感染管理認定看護師 管理栄養士
10/19 (水)	検査のあれこれ インフルエンザにかかったら…お薬について	臨床検査技師 薬剤師
10/26 (水)	運動の秋!体を動かそう	理学療法士
11/2 (水)	糖尿病と診断されたら 食物繊維をしっかりとろう	内科医師 管理栄養士
11/9 (水)	公開糖尿病教室があります。～合併症を体験しよう～	
11/16 (水)	あなたの眼は大丈夫?～糖尿病性網膜症について知っておこう～ わたしにもできる運動ってあるの?	眼科医師 理学療法士
11/23 (水)	勤労感謝の日(お休み)	
11/30 (水)	カンパセーションマップ すぐろくのような地図を囲んで、糖尿病の知識や体験を話し、糖尿病について楽しく学びます	担当スタッフ
12/7 (水)	しめじ・えのきを知っていますか? ～糖尿病合併症について～ 血糖値を測ってみよう	内科医師 臨床検査技師
12/14 (水)	体調が悪い時はどうすればいいの? クリスマスケーキやおせち料理をおいしく食べよう	看護師 管理栄養士
12/21 (水)	ジェネリック薬ってなあに? 運動についての悩みはありませんか?	薬剤師 理学療法士
12/28 (水)	すぐろくゲームで糖尿病を学ぼう	担当スタッフ

※都合により内容が変更になる場合があります。

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれも遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。 病院長

移動図書館 青い鳥号



来院予定日

10/ 5水・19水
11/ 2水・16水・30水
12/ 14水・28水

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

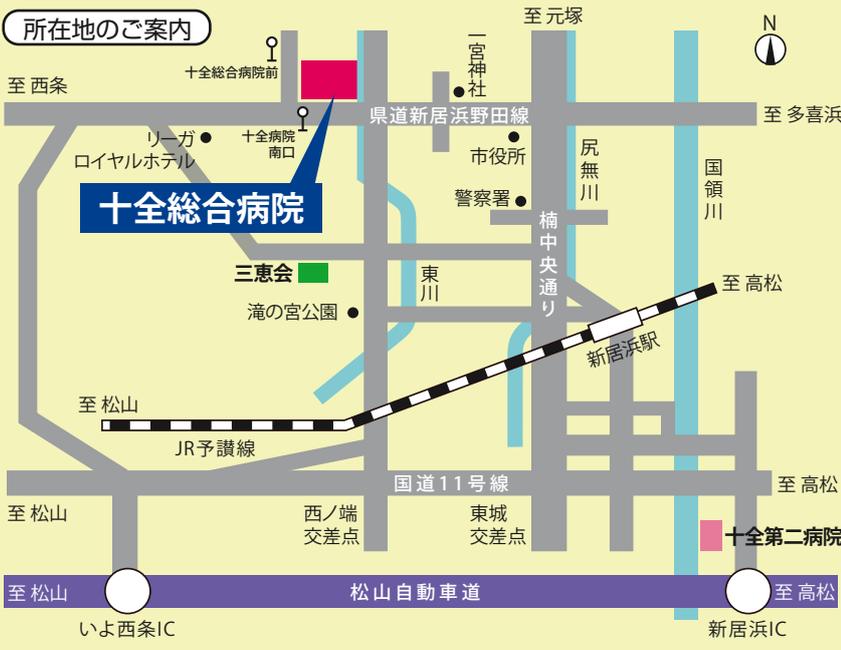
患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。



交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車
「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車
- 《JR》JR予讃線……新居浜(にいほま)駅下車、タクシーで約10分

一般財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会



未来が変わる。日本が変わる。
ストップ! 温暖化

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士の育成
校是【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全第二病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。

●社会福祉法人 三恵会

- 子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を行っています。
- | | |
|----------|---------------|
| 総合福祉施設 | やすらぎの郷 |
| 介護老人福祉施設 | ハートランド三恵 |
| 介護老人保健施設 | リハビリステーション三恵荘 |
| 介護老人保健施設 | 希望の館 |
| 障害者支援施設 | 三恵ホーム |
| 児童福祉施設 | 十全保育園 |
| 総合福祉館 | コミュニティハウス三恵 |
| 福祉館 | 福社館 恵海 |
| 児童福祉施設 | 中萩保育園 |
| 養護老人ホーム | 新居浜市立慈光園 |



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。